

## 目標達成計画

作成日: 平成 25 年 4 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践 ケアの経験が浅い職員に対しての、身体拘束についての知識習得が不十分である。	自ホームの身体拘束委員会より、率先して新人に学習会を実施、時にはテストを行い完全な知識を身につける。	新人教育時間(月1回)を設け、学習を進める。	3ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 ホームでは医療行為と看取りは行っておらず、その旨口頭で説明し、文書化はしていない。	法人の医療・看取りの説明を文書化して、分かりやすく明示する。	その内容について系列ホームとの話し合い・内容の取りまとめを行い、文書を作成する。	3ヶ月
3	35	災害対策 消防立会い時での避難訓練時、消防署よりのアドバイスを記録として残し、職員の情報共有と活用、自主訓練の重複を重ね、常に災害意識を高めねばならない。	消防のアドバイスを文書化する。 消防設備の操作手順、避難経路の把握を完璧に行なう。	毎月ごとの消防装置(消火器・消火栓等)の使用手順の学習実施。 消防アドバイスの活用。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。